

上之巻
日本訪速門有
右本

馬の
於
梅

丙



種
彦

13
3215



3215

日本駄右衛門

有馬の於藤

人形筆五色繚臧

柳亭種彦作

歌川國貞画

全六冊合巻

上編

文政戊春新板

江戸より町川岸角山本榮久堂鐫

七月二日

二

一

中昔の謎語小駕籠小衆振袖と掛て人形筆と解意はうけを
 作者は喜多し似る寄う似顔の繪冊子三冊合し一本舞世の勸
 善の作里物よき所見合を仙女香のひろめと書入りのよ口後か
 四五丁その誂への末がきとちの紫墨の丸溢る黒いんめさう綺香
 金欄上下着附の時代世話異本と二本校合して陀右衛門の物見の
 松小浪かゝる藤乃花柳さじとる本屋中禁句万苦の苦の世果と
 せつらき時のもぐり口も持ま下まの長談義のつとらしく説く
 十二周縁冊教と前後ふかして六道輪廻畢竟世界の大道善八葉
 悪へ亡天小眼の有馬節邪正一如の二上りのなりつめを鳴呼身の入る
 因果報應の勸化とあげられませう

文政九年丙戌春

柳亭種彦誌





うけておひの糸の縁







Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration of two figures.



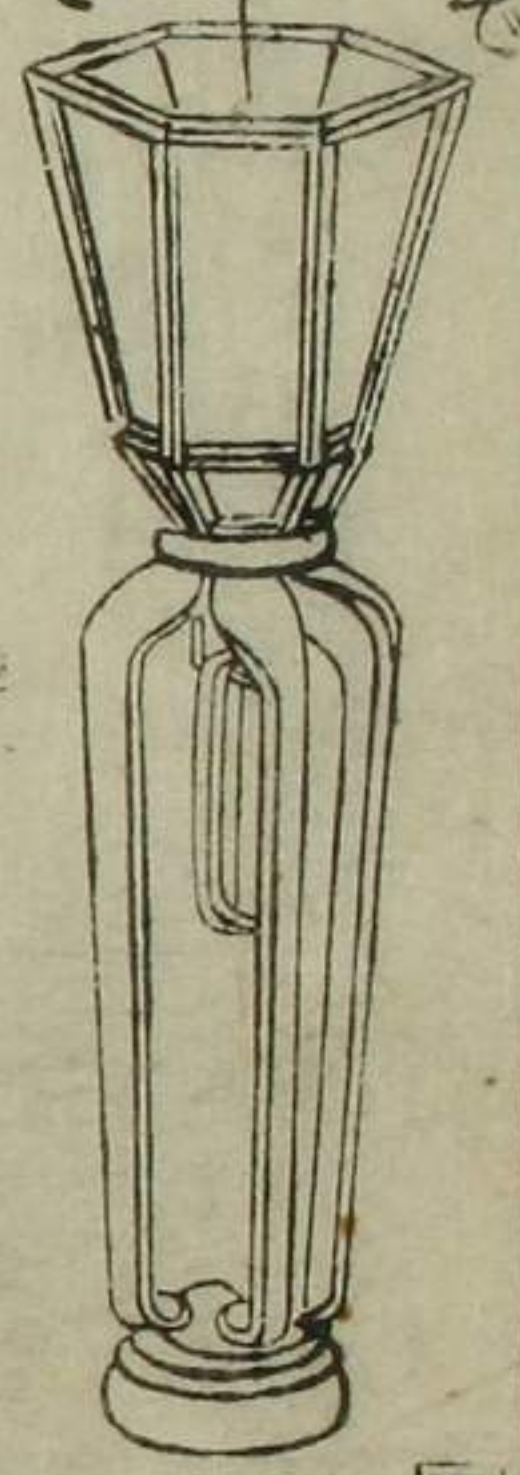
Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration of a single figure.



此の書は...
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 百



此の書は...
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 百



Handwritten text in the top right corner of the right page, likely a title or introductory text.



Handwritten text in the bottom right corner of the right page, continuing the narrative or providing commentary.

Handwritten text in the top left corner of the left page.



Handwritten text in the bottom left corner of the left page.

形
以
金

人



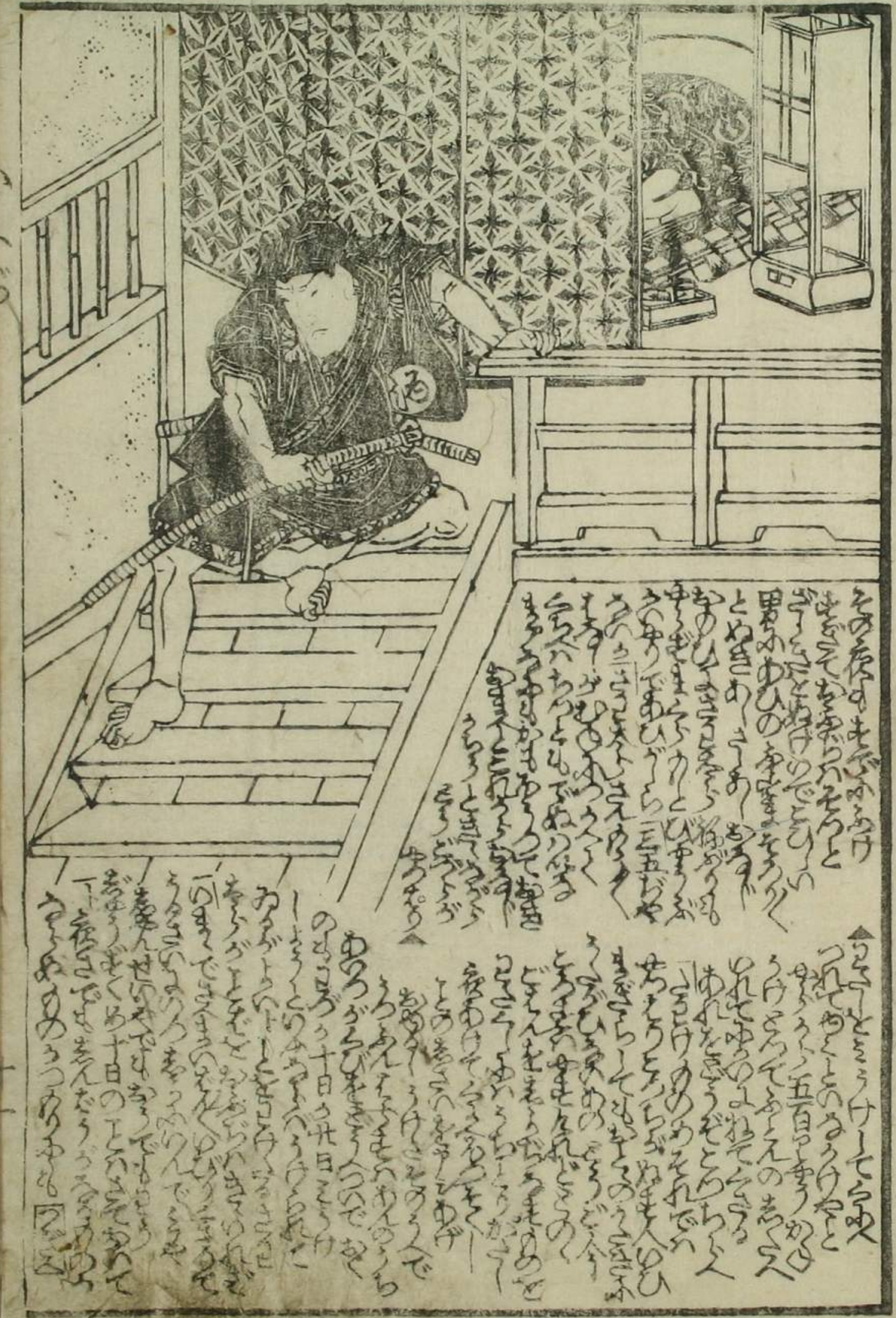
山
本
板



國
貞
画
種
彦
作

Handwritten text in a cursive style, likely a commentary or a list of items related to the illustration above. The text is dense and fills the lower portion of the right page.

日本馱右衛門有馬之於藤人形
 筆五色綵藏全六冊合卷繪冊子
 柳亭種彦作五渡亭國貞画干時
 文政九年丙戌新版江戸芳町川
 岸親父橋角書肆山本榮久堂主
 人平吉梓行筆福硯壽大吉利市







卯木東庫
 田子兵衛
 金五
 百両
 用
 用
 用

田子兵衛は、卯木東庫の
 金五、百両、用、用、用
 卯木東庫は、田子兵衛の
 金五、百両、用、用、用

偽の東庫
 五百両
 用、用、用



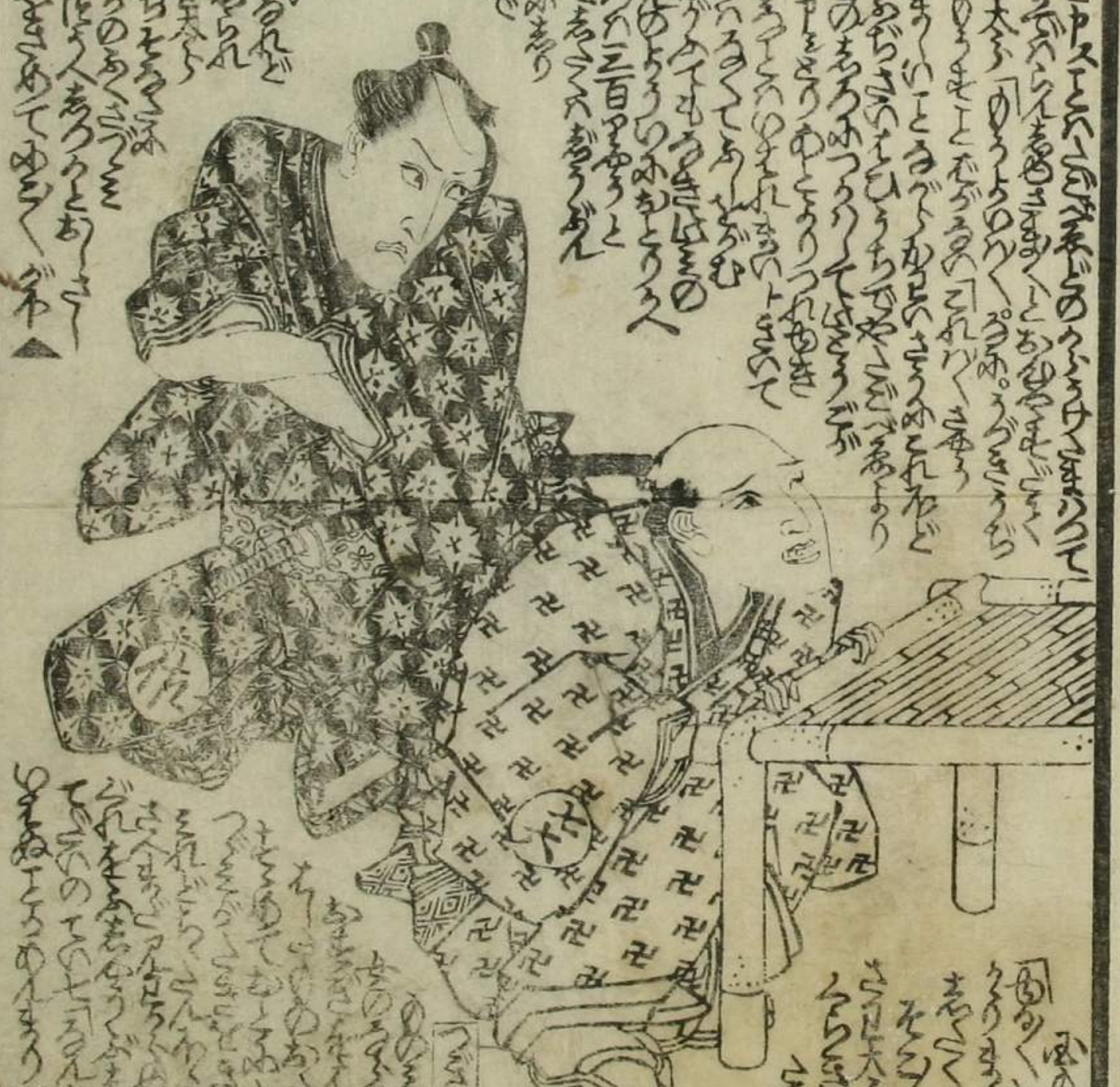
卯木東庫
 田子兵衛
 金五
 百両
 用
 用
 用

卯木東庫は、田子兵衛の
 金五、百両、用、用、用
 田子兵衛は、卯木東庫の
 金五、百両、用、用、用

Handwritten text in a cursive script, likely a play script, surrounding the illustration on the right page. The text is arranged in vertical columns, with some lines appearing to be stage directions or dialogue.

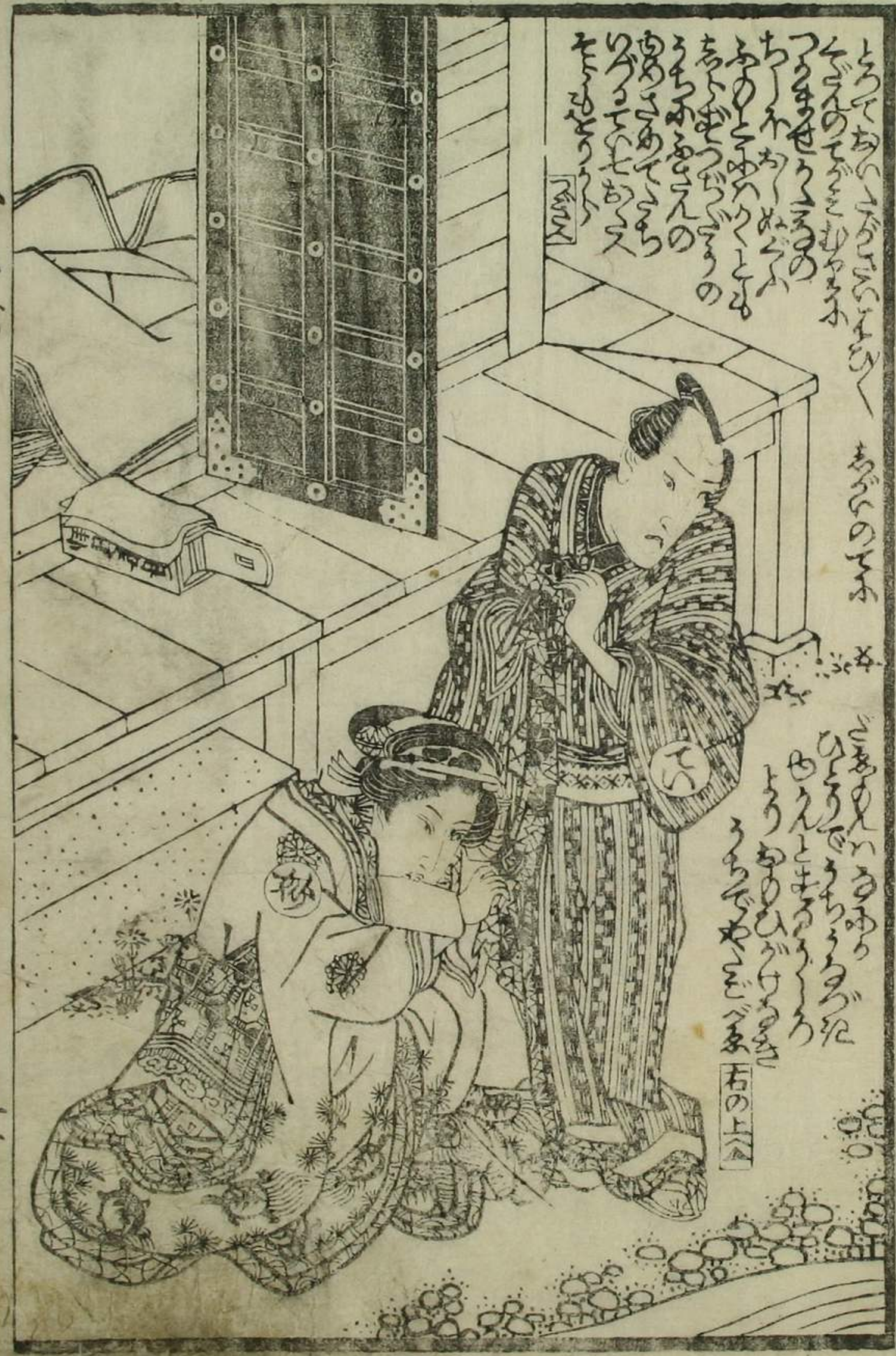


Handwritten text in a cursive script, likely a play script, surrounding the illustration on the left page. The text is arranged in vertical columns, with some lines appearing to be stage directions or dialogue.



Small handwritten text or a page number located at the top left of the page.

Small handwritten text or a page number located at the bottom left of the page.



とつておのゝかたはのまじり
 ぐさのてうまむかき
 つのませうこのの
 ちしやあひぬか
 あのとちゆいくとよ
 ちしやあひぬか
 うちあひぬかの
 あひぬかあひぬか
 りつてあひぬか
 そまひぬか

あひぬかの

あひぬかの
 ひしやあひぬかの
 りつてあひぬかの
 うちあひぬかの
 そまひぬかの

右の上



つておのゝかたはのまじり
 ぐさのてうまむかき
 つのませうこのの
 ちしやあひぬか
 あのとちゆいくとよ
 ちしやあひぬか
 うちあひぬかの
 あひぬかあひぬか
 りつてあひぬか
 そまひぬか

あひぬかの

あひぬかの
 ひしやあひぬかの
 りつてあひぬかの
 うちあひぬかの
 そまひぬかの

あひぬかの
 ひしやあひぬかの
 りつてあひぬかの
 うちあひぬかの
 そまひぬかの

Handwritten text in a cursive script, likely a liturgical or ceremonial text, located in the upper right section of the page.

Large vertical characters in the center of the page, possibly representing a title or a specific section header.

Handwritten text in a cursive script, located in the middle section of the page, below the large vertical characters.

Large vertical characters on the left side of the page, continuing the text or providing additional context.

Decorative border or frame elements surrounding the main text blocks.

練

女藏



文政丙戌

春發殿



五七

國貞画

